

平成30年度

# 決 算

貸借対照表  
正味財産増減計算書  
キャッシュ・フロー計算書  
附属明細書  
財産目録

(監査報告書添付)

公益財団法人新国立劇場運営財団

## 目 次

1.	貸借対照表	P.3
2.	正味財産増減計算書	P.4
3.	正味財産増減計算書内訳表	P.5
4.	キャッシュ・フロー計算書	P.6
5.	財務諸表に対する注記	P.7
6.	附属明細書	P.9
7.	財産目録	P.10
8.	会計監査報告書	P.11
9.	監査報告書	P.13

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,194,460,760	1,364,683,494	△ 170,222,734
未収収益	174,328	354,848	△ 180,520
未収金	535,256,779	622,789,385	△ 87,532,606
棚卸資産	194,375,441	293,373,468	△ 98,998,027
前払金	53,585,884	74,779,919	△ 21,194,035
前払費用	16,350,431	16,447,217	△ 96,786
仮払金	1,572,100	960,400	611,700
立替金	1,027,646	1,237,753	△ 210,107
流動資産合計	1,996,803,369	2,374,626,484	△ 377,823,115
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	100,300,000	100,300,000	0
基本財産合計	100,300,000	100,300,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当特定資産	667,311,881	617,959,181	49,352,700
公演事業等損失特定資産	500,000,000	500,000,000	0
公演事業等展開促進特定資産	0	300,000,000	△ 300,000,000
日本博関連対象公演特定費用準備資金	180,000,000	0	180,000,000
新制作公演拡充特定費用準備資金	100,000,000	0	100,000,000
国際展開公演制作特定費用準備資金	150,000,000	0	150,000,000
30周年記念事業特定費用準備資金	40,000,000	0	40,000,000
特定資産合計	1,637,311,881	1,417,959,181	219,352,700
固定資産合計	1,737,611,881	1,518,259,181	219,352,700
資産合計	3,734,415,250	3,892,885,665	△ 158,470,415
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	702,529,318	748,941,509	△ 46,412,191
前受金	788,835,362	900,149,948	△ 111,314,586
預り金	40,752,836	45,822,994	△ 5,070,158
賞与引当金	90,322,495	88,818,423	1,504,072
流動負債合計	1,622,440,011	1,783,732,874	△ 161,292,863
2. 固定負債			
退職給付引当金	948,852,400	904,061,500	44,790,900
固定負債合計	948,852,400	904,061,500	44,790,900
負債合計	2,571,292,411	2,687,794,374	△ 116,501,963
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄附金	100,300,000	100,300,000	0
指定正味財産合計	100,300,000	100,300,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 100,300,000 )	( 100,300,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産	1,062,822,839	1,104,791,291	△ 41,968,452
(うち特定資産への充当額)	( 970,000,000 )	( 800,000,000 )	( 170,000,000 )
正味財産合計	1,163,122,839	1,205,091,291	△ 41,968,452
負債及び正味財産合計	3,734,415,250	3,892,885,665	△ 158,470,415

# 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10,587	50,240	△ 39,653
特定資産運用益	656,069	721,766	△ 65,697
受取寄附金等	319,163,000	301,948,000	17,215,000
受託収益	4,095,561,589	4,228,851,000	△ 133,289,411
研修事業等収益	103,843,912	99,689,139	4,154,773
公演事業収益	2,424,638,052	2,219,468,820	205,169,232
施設使用料収益	285,623,426	263,478,903	22,144,523
受託事業収益	222,889,566	187,931,819	34,957,747
附帯事業収益	489,430	160,479	328,951
協賛金収益	152,590,001	143,894,480	8,695,521
雑収益	6,581,165	4,970	6,576,195
経常収益計	7,612,046,797	7,446,199,616	165,847,181
(2) 経常費用			
事業費	7,365,176,777	6,823,658,937	541,517,840
役員報酬	51,536,969	52,321,075	△ 784,106
給料手当	918,141,458	913,134,444	5,007,014
福利厚生費	184,210,096	180,155,188	4,054,908
一般管理費	1,064,924,382	1,152,851,394	△ 87,927,012
交流・研修費	246,021,904	213,542,761	32,479,143
施設維持管理費	1,274,813,825	1,291,736,315	△ 16,922,490
公演事業費	3,575,169,480	2,984,966,410	590,203,070
附帯事業費	50,285,972	34,951,350	15,334,622
その他	72,691	0	72,691
管理費	288,838,472	252,225,257	36,613,215
役員報酬	7,202,054	7,083,764	118,290
給料手当	116,258,789	115,554,068	704,721
退職給付費用	80,168,200	47,380,700	32,787,500
福利厚生費	23,046,987	23,019,718	27,269
一般管理費	48,372,072	44,269,619	4,102,453
施設維持管理費	13,633,764	14,778,595	△ 1,144,831
交際費	156,606	138,793	17,813
経常費用計	7,654,015,249	7,075,884,194	578,131,055
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 41,968,452	370,315,422	△ 412,283,874
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 41,968,452	370,315,422	△ 412,283,874
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 41,968,452	370,315,422	△ 412,283,874
一般正味財産期首残高	1,104,791,291	734,475,869	370,315,422
一般正味財産期末残高	1,062,822,839	1,104,791,291	△ 41,968,452
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産運用益	10,587	50,240	△ 39,653
一般正味財産への振替額	△ 10,587	△ 50,240	39,653
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,300,000	100,300,000	0
指定正味財産期末残高	100,300,000	100,300,000	0
III 正味財産期末残高	1,163,122,839	1,205,091,291	△ 41,968,452

正味財産増減計算書内訳表  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公演事業	公演関連収益事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			10,587		10,587
特定資産運用益	123,721		532,348		656,069
受取寄附金等	305,652,158		13,510,842		319,163,000
受託収益	3,795,386,781	21,769,266	278,405,542		4,095,561,589
研修事業等収益	103,843,912				103,843,912
公演事業収益	2,413,087,955	11,550,097			2,424,638,052
施設使用料収益	271,708,838	13,914,588			285,623,426
受託事業収益	222,889,566				222,889,566
附帯事業収益	489,430				489,430
協賛金収益	152,590,001				152,590,001
雑収益	5,802,925	42,088	736,152		6,581,165
経常収益計	7,271,575,287	47,276,039	293,195,471	0	7,612,046,797
(2) 経常費用					
事業費	7,317,863,487	47,313,290			7,365,176,777
役員報酬	51,136,143	400,826			51,536,969
給料手当	911,677,538	6,463,920			918,141,458
福利厚生費	182,883,652	1,326,444			184,210,096
一般管理費	1,054,347,400	10,576,982			1,064,924,382
交流・研修費	246,021,904				246,021,904
施設維持管理費	1,260,451,506	14,362,319			1,274,813,825
公演事業費	3,560,986,681	14,182,799			3,575,169,480
附帯事業費	50,285,972				50,285,972
その他	72,691				72,691
管理費			288,838,472		288,838,472
役員報酬			7,202,054		7,202,054
給料手当			116,258,789		116,258,789
退職給付費用			80,168,200		80,168,200
福利厚生費			23,046,987		23,046,987
一般管理費			48,372,072		48,372,072
施設維持管理費			13,633,764		13,633,764
交際費			156,606		156,606
経常費用計	7,317,863,487	47,313,290	288,838,472	0	7,654,015,249
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 46,288,200	△ 37,251	4,356,999	0	△ 41,968,452
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 46,288,200	△ 37,251	4,356,999	0	△ 41,968,452
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 46,288,200	△ 37,251	4,356,999	0	△ 41,968,452
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 46,288,200	△ 37,251	4,356,999	0	△ 41,968,452
一般正味財産期首残高					1,104,791,291
一般正味財産期末残高					1,062,822,839
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益			10,587		10,587
一般正味財産への振替額			△ 10,587		△ 10,587
当期指定正味財産増減額			0		0
指定正味財産期首残高			100,300,000		100,300,000
指定正味財産期末残高			100,300,000		100,300,000
III 正味財産期末残高					1,163,122,839

キャッシュ・フロー計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	△ 41,968,452	370,315,422	△ 412,283,874
2. キャッシュ・フローへの調整額			
①基本財産の増減額	0	0	0
②退職給付引当金の増減額	44,790,900	25,743,400	19,047,500
③未収金の増減額	87,532,606	△ 123,368,086	210,900,692
④棚卸資産の増減額	98,998,027	△ 127,351,776	226,349,803
⑤その他資産の増減額	21,069,748	△ 28,909,549	49,979,297
⑥賞与引当金の増減額	1,504,072	3,548,705	△ 2,044,633
⑦未払金の増減額	△ 46,412,191	110,631,348	△ 157,043,539
⑧前受金の増減額	△ 111,314,586	190,451,750	△ 301,766,336
⑨その他負債の増減額	△ 5,070,158	10,995,714	△ 16,065,872
⑩指定正味財産からの振替額	△ 10,587	△ 50,240	39,653
小計	91,087,831	61,691,266	29,396,565
3. 指定正味財産増加収入			
指定正味財産運用益	10,587	50,240	△ 39,653
指定正味財産増加収入計	10,587	50,240	△ 39,653
事業活動によるキャッシュ・フロー	49,129,966	432,056,928	△ 382,926,962
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
退職給付引当特定資産の取崩収入	35,377,300	21,637,300	13,740,000
公演事業等展開促進特定資産の取崩収入	300,000,000	0	300,000,000
投資活動収入計	335,377,300	21,637,300	313,740,000
2. 投資活動支出			
退職給付引当特定資産の繰入支出	84,730,000	78,555,000	6,175,000
公演事業等展開促進特定資産の繰入支出	0	300,000,000	△ 300,000,000
日本博関連対象公演特定費用準備資金の繰入支出	180,000,000	0	180,000,000
新制作公演拡充特定費用準備資金の繰入支出	100,000,000	0	100,000,000
国際展開公演制作特定費用準備資金の繰入支出	150,000,000	0	150,000,000
30周年記念事業特定費用準備資金の繰入支出	40,000,000	0	40,000,000
投資活動支出計	554,730,000	378,555,000	176,175,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 219,352,700	△ 356,917,700	137,565,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 170,222,734	75,139,228	△ 245,361,962
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,364,683,494	1,289,544,266	75,139,228
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,194,460,760	1,364,683,494	△ 170,222,734

(注) 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(注) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目との関係

	当年度	前年度
現金預金勘定	1,194,460,760	1,364,683,494
預入期間が3カ月を超える定期預金	0	0
現金及び現金同等物	1,194,460,760	1,364,683,494

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の有価証券の評価は償却原価法を適用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品、公演制作費等の仕掛品及び貯蔵品は、棚卸資産に含めている。  
商品：先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）  
仕掛品：個別原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）  
貯蔵品：最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）
- (3) 引当金の計上基準  
ア 貸倒引当金  
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。  
なお、該当事項はありません。  
イ 賞与引当金  
役職員に対する賞与等の支給に備えるため、支給見込額の当期対応分を計上している。  
ウ 退職給付引当金  
役職員の退職給付に備えるため、役職員が自己都合で退職した場合の期末要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	100,300,000	10,587	10,587	100,300,000
小 計	100,300,000	10,587	10,587	100,300,000
特定資産				
退職給付引当特定資産	617,959,181	84,730,000	35,377,300	667,311,881
公演事業等損失特定資産	500,000,000	0	0	500,000,000
公演事業等展開促進特定資産	300,000,000	0	300,000,000	0
日本博関連対象公演特定費用準備資金	0	180,000,000	0	180,000,000
新制作公演拡充特定費用準備資金	0	100,000,000	0	100,000,000
国際展開公演制作特定費用準備資金	0	150,000,000	0	150,000,000
30周年記念事業特定費用準備資金	0	40,000,000	0	40,000,000
小 計	1,417,959,181	554,730,000	335,377,300	1,637,311,881
合 計	1,518,259,181	554,740,587	335,387,887	1,737,611,881

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
現金預金	100,300,000	( 100,300,000 )	—	—
小 計	100,300,000	( 100,300,000 )	—	—
特定資産				
退職給付引当特定資産	667,311,881	—	—	( 667,311,881 )
公演事業等損失特定資産	500,000,000	—	( 500,000,000 )	—
日本博関連対象公演特定費用準備資金	180,000,000	—	( 180,000,000 )	—
新制作公演拡充特定費用準備資金	100,000,000	—	( 100,000,000 )	—
国際展開公演制作特定費用準備資金	150,000,000	—	( 150,000,000 )	—
30周年記念事業特定費用準備資金	40,000,000	—	( 40,000,000 )	—
小 計	1,637,311,881	—	( 970,000,000 )	( 667,311,881 )
合 計	1,737,611,881	( 100,300,000 )	( 970,000,000 )	( 667,311,881 )

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
明治安田生命2016基金特定目的 会社第1回A号特定社債 (5年)	50,000,000	50,035,050	35,050
合 計	50,000,000	50,035,050	35,050

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息を通常の事業に充てるための振替額	10,587
合 計	10,587

6 関連当事者との取引の内容

(1) 主要な受託先法人

法人等の名称	独立行政法人日本芸術文化振興会		
住 所	東京都千代田区隼町4-1		
資産総額	237,865,274千円		
事業の内容	芸術文化の振興		
議決権の所有割合	無し		
関係内容	役員の兼務等	無し	
	事業上の関係	役務の提供	
取引の内容	新国立劇場において行われる現代舞台芸術に係る業務及び劇場の管理運営(業務委託契約)		
取引金額	4,095,561,589円	—	—
科 目	受託収益	預り金	未払金
期末残高	—	4,814円	13,217,411円

(2) 役員及びその近親者

該当ありません。

7 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、特定資産の一部を、原則として満期保有を目的とした債券により運用する。  
なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

運用資産は、原則として満期保有を目的とした債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 個々の原義決済に基づく取引

金融商品の取引は、個々の原義決済に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、必要に応じて担当役員に報告する。

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

### 2 引当金の明細

引当金の明細は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	88,818,423	90,322,495	88,818,423		90,322,495
退職給付引当金	904,061,500	80,168,200	35,377,300		948,852,400

(注) 役員特別手当に係る引当金についても賞与引当金に含めて計上している。

(注) 役員退職慰労金に係る引当金についても退職給付引当金に含めて計上している。

# 財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			1,194,460,760
現金手許有高			1,537,546
普通預金			1,151,973,060
	三井住友銀行東京公務部	運転資金として	638,418,433
	三井住友銀行本店営業部	"	45,561,672
	三菱UFJ信託銀行新宿支店	"	18,025,821
	三菱UFJ銀行西新宿支店	"	148,468,473
	三菱UFJ銀行新宿西支店	"	20,054,665
	みずほ銀行新宿新都心支店	"	102,063,084
	りそな銀行新都心営業部	"	10,737,032
	きらぼし銀行代々木支店	"	167,035,274
	大和ネクスト銀行	"	1,608,606
郵便貯金	ゆうちょ銀行	"	40,950,154
未収収益	定期預金利息	事業活動に伴う短期債権	174,328
未収金	入場料収入等	"	535,256,779
棚卸資産			194,375,441
貯蔵品	Suica、切手等	事業活動に伴う貯蔵品	490,493
仕掛品	前払公演制作費等	公演事業活動に伴う仕掛品	193,884,948
前払金	各種年会費等	事業活動に伴う前払金	53,585,884
前払費用	未経過保険料	事業活動に伴う前払費用	16,350,431
仮払金	印紙税(納付計器)費等	事業活動に伴う仮払金	1,572,100
立替金	電気料金等	事業活動に伴う立替金	1,027,646
流動資産合計			1,996,803,369
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
現金預金	三井住友銀行東京公務部 定期預金	法人の管理運営に用いる財産であり、運用益は法人会計に使用している。	56,300,000
"	みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金	"	34,000,000
"	三菱UFJ信託銀行新宿支店 定期預金	"	10,000,000
基本財産合計			100,300,000
<b>(2) 特定資産</b>			
退職給付引当特定資産	三井住友銀行東京公務部 普通預金	退職給付引当金見合の財産	217,311,881
"	大和ネクスト銀行 定期預金	"	200,000,000
"	SMBC日興証券 預け金	"	200,000,000
"	明治安田生命2016基金特定 目的会社第1回A号特定社債	退職給付引当金見合の財産、 満期保有目的(5年)	50,000,000
公演事業等損失 特定資産	大和ネクスト銀行 定期預金	公益目的事業財産であり、運用益は公益目的事業に使用している。	400,000,000
"	三井住友銀行東京公務部 普通預金	"	100,000,000
日本博関連対象公演 特定費用準備資金	三井住友銀行東京公務部 普通預金	公益目的事業財産	180,000,000
新制作公演拡充 特定費用準備資金	みずほ銀行新宿新都心支店 普通預金	"	100,000,000
国際展開公演制作 特定費用準備資金	三菱UFJ銀行新宿西支店 普通預金	"	150,000,000
30周年記念事業 特定費用準備資金	三井住友銀行東京公務部 普通預金	"	40,000,000
特定資産合計			1,637,311,881
固定資産合計			1,737,611,881
資産合計			3,734,415,250
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	物品購入費、役務提供費等	事業活動に伴う短期債務	702,529,318
前受金	前受入場料等	事業活動に伴う前受金	788,835,362
預り金	源泉所得税等	事業活動に伴う預り金	40,752,836
賞与引当金		賞与見込額のうち当期分	90,322,495
流動負債合計			1,622,440,011
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金		役員に対する退職金の支払いに備え管理しているもの。	948,852,400
固定負債合計			948,852,400
負債合計			2,571,292,411
正味財産			1,163,122,839

## 独立監査人の監査報告書

令和元年5月27日

公益財団法人新国立劇場運営財団  
理事会 御中

田中公認会計士事務所

公認会計士 田中 茂

公認会計士荻野恭将事務所

公認会計士 荻野 恭将

### <財務諸表監査>

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人新国立劇場運営財団の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

### 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、

内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちは、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### <財産目録に対する意見>

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人新国立劇場運営財団の平成 31 年 3 月 31 日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

#### 財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

#### 監査人の責任

私たちの責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

#### 財産目録に対する監査意見

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

#### 利害関係

公益財団法人新国立劇場運営財団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監 査 報 告 書

令和元年 5月29日

公益財団法人 新国立劇場運営財団  
理事長 尾 崎 元 規 殿

監事 田 原 昭 之

監事 中 野 敬 久

私たち監事は、当財団の平成30年度（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）に係る事業報告、計算書類及び各附属明細書並びに財産目録に係る監査を行いましたので、以下の通り報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他の重要な会議に出席するほか、理事等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施しました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

- ① 会計監査人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。
- ② 会計監査人の職務の遂行が適正に実施されることを確保するための体制については、会計監査人よりの通知のとおり適切であると認めます。

以 上